

令和4年度第1回 垂水区地域包括支援センター運営協議会 議事録

- 1 日時 令和4年8月10日(水) 午後1時30分～午後2時50分
- 2 場所 垂水区役所2階健康教育室7・8
- 3 議題 (1) あんしんすこやかセンター運営状況(令和3年度)…資料1
 - ・実績報告書
 - ・センター連絡会等の開催状況(2) あんしんすこやかセンター事業計画書・事業目標…資料2
 - ・令和4年度事業計画書
 - ・地域包括ケア充実のための事業目標【非公開】(3) 特定事業所へのサービス集中率【非公開】…資料3
- (4) 区地域包括支援センター運営協議会について…資料4

4 出席者 委員11名中10名出席(代理出席1名を含む) 傍聴人 0名

5 当日出された主な意見・質問及び回答(要旨)

(委員)

あんしんすこやかセンターにおいてヤングケアラーの対応はあるのか。

(事務局)

垂水区においてもこども若者ケアラーに該当する介護者の支援ケースがあがっている。これまで、あんしんすこやかセンターは養護者支援として、介護者の年齢などに関わらず対応してきている。支援室の立ち上げを受け、令和3年度より神戸市でもケアマネなどを中心に周知できるよう努めている。また、改正社会福祉法などの流れを受けて、各専門職種が対象者を含む世帯全体を含めた支援の視点をもつことで、関係機関が連携できる関りが必要となっている。

(委員)

コロナ禍により高齢者の心身機能の低下が危惧される。施設でも職員のコロナ感染などにより人員がギリギリな状況がある。

(事務局)

地域でも社会参加の機会が顕著に少なくなっている上、医療や介護サービスの利用を控えること

で基礎疾患やフレイルの進行の恐れがある。あんしんすこやかセンターでも認知症や介護認定の相談が増えている。また、陽性者の場合は療養期間中のサービス利用が制限されることより ADL の悪化につながる状況にある。

(委員)

区運営協議会の随時開催にあたって、委員任期はどのようになるのか。

(事務局)

区運営協議会が随時開催になった場合も、その期間中の委員任期や推薦依頼などは継続される。特段の案件がなければ、次回は時期公募にあたっての意見聴取となるため令和7年度の開催となる見込み。

(委員)

薬局ではコロナ陽性者宅を訪問して薬剤を届けるケースが増えている。抗ウイルス薬の取り扱いには薬局によって異なるが、少しでも療養者が安心して過ごすことができるように尽力している。

(事務局)

保健センターより陽性者への連絡する中で処方薬が迅速に陽性者の手元に届いていることに感謝している。

(委員)

活動報告の月報のなかで、時間外対応や緊急対応の件数に計上しきれていない部分があるように感じる。業務も多岐に渡り職員への負担も増している現状を把握してもらう必要がある。

(事務局)

あんしんすこやかセンターでは昨年度より災害時の見守りといった役割なども活動に盛り込まれており業務内容が多岐に渡っている。そのような中で夜間に警察などからの緊急連絡を受けることもあり、連絡会の場でも頻繁にそのような話が聞かれている。介護保健課でも現地視察による運営評価を実施しており、月報では測ることご難しい部分も注視する必要があると意見をあげたい。

(委員)

医療機関ではコロナ陽性者の入院受け入れをしている。本来であれば早期の予防的な薬剤投与などにより重症化を防ぐことが望まれるが、現状では症状が進行した段階での受け入れにならざるを得ないことに苦心している。第7波が落ち着いた際には課題の検証が必要となる。

(事務局)

現状、コロナ陽性者の入院は症状が進んでからの調整となることが多いため早期の予防的な対応が困難な状況が続いている。医療機関以外にも、あんしんすこやかセンターをはじめケアマネジャー、通所事業所、施設などでも陽性者の発生に伴う調整などで苦心されるケースが多く、それぞれの視点から課題を検証する必要があると感じている。

(委員)

あんしんすこやかセンターの活動にあるヤングケアラーの取り組みに関して、診療場面でも患者の介護は誰が担っているのか気にかかることがある。神戸市としてはどのような体制となっているのか。

(事務局)

こども若者ケアラーに関しては、令和3年度に神戸市でも相談・支援窓口が開設されました。あんしんすこやかセンター以外にもケアラーの身近な立場である学校関係などを含めて連携をとることになっている。あんしんすこやかセンターでは機会をとらえてケアマネジャーなどへも周知しております。また、当事者同士の交流や意見交換の場の設置もなされています。

(委員)

区運営協議会が随時開催になることについて、委員任期中に開催がない場合も想定される。そのような場合に後任者への引継ぎなどが難しいため、開催にあたって留意してもらう必要がある。また、資料なども見慣れない内容のため、月報などをどのようなポイントで確認すればよいのか事前に教えてもらうと良いと思われる。

(事務局)

区運営協議会の開催にあたって出席者への事前説明などで対応していきたい。

(委員)

日頃から、何かあればあんしんすこやかセンターへ相談させてもらっている。いつも相談に乗ってもらい有難く感じている。

(事務局)

地域からの多くの相談への対応、関係機関との情報共有や高齢者の見守りに協力いただき感謝している。あんしんすこやかセンターでも把握しきれない対象者の変化などを地域の方へ訪ねることも多く助かっている。

(委員)

地域で開催するデイサービスなどの活動をしている中でも、いつも参加していた方の様子の変化などに気が付くことがある。当然ながらあんしんすこやかセンターだけでは担いきれない部分もあるため、地域でも見守りをしていく必要があると感じている。

(事務局)

あんしんすこやかセンターも地域の集い場などが高齢者の変化をとらえる重要な場として足を運んでいる。その中で、地域の方と情報共有できた内容が非常に重要な介入のきっかけになることも多く、今後ともご協力をお願いしたい。

(委員)

歯科医師会ではオーラルフレイルの取組みを推進しているとともに、神戸市でも65歳健診が開始されている。その中で、オーラルフレイルのリスクが高い場合にはあんしんすこやかセンターへ連絡することになっている。昨年度はあんしんすこやかセンターに歯科医師会の研修などに参加してもらう機会があった。

また、高齢者の受診にいつも付き添っている大学生のお孫さんがいて、ヤングケアラーではないかと気にかかっていたケースがあり、今後相談してみようかと思う。

(事務局)

昨年度、介護予防に関する関係機関との意見交換をする中でオーラルフレイルなどの取組みを共有することができ、本年度も同様の機会を設定できればと期待している。

(委員)

社会福祉協議会では居場所などの資源開発などに取り組んでおり、日頃からあんしんすこやかセンターとも連携をとらせてもらっている。

あんしんすこやかセンターの事業計画書や活動計画書について、神戸市向けに作成された内容となっている印象を受ける。本来、地域に向けてセンターの活動方針が発信されることが望まれる。また、区運営協議会の随時開催に関しては、定例開催であっても専門的な言葉や内容が多いため、委員に向けた配慮が必要になると感じた。

(事務局)

ご指摘の通り、あんしんすこやかセンターの活動が地域に周知されることが重要と考える。あんしんすこやかセンター圏域での地域ケア会議などではセンターの感じる課題を共有するなど機会をみて周知できればと考えている。また、区運営協議会の随時開催にあたっては、会議の開催目的やどのような視点で意見を賜りたいかをご理解いただいたうえでご出席ただけるように努めたい。